

第 20 回公益社団法人日本コンクリート工学会四国支部総会議事録

1. 日時 2024 年 4 月 16 日（火）15 時 00 分～16 時 20 分

2. 場所 ホテル パールガーデン 1 F 「玉藻の間」（高松市）

3. 出席者 上田支部長，大内副支部長，ほか 32 名

4. 資料

・資料-1 第 20 回総会資料

5. 開会挨拶

上田支部長より開会の挨拶があった。

6. 議長の選出

支部規定により上田隆雄支部長が選出された。議長より，議事録作成人に橋本親典本部理事が，議事録署名人に古田満広，横井克則の両支部幹事が指名された。

7. 議事（報告事項）

（1）2023 年度支部事業報告および収支決算

資料-1（pp.1～33）の記載に基づき，古田満広支部幹事より支部事業報告および収支決算報告があった。

各活動については以下の通り詳細の報告があった。

上田支部長より「四国におけるコンクリート教育に関する研究委員会」の活動および会計について（pp.6～9），橋本委員長（本部理事）より「コンクリート工の生産性向上を目的としたトラックアジテータ車の高性能化に関する研究委員会」の活動および収支について（pp.10～20），渡邊支部幹事より「生セミナー in 徳島」の開催について（pp.21～22），橋本本部理事より「第 12 回コンクリート技術研修会」の開催について（pp.23～24）上田支部長より「2022 年制定コンクリート標準示方書発刊に伴う四国地区講習会（12 月開催と 3 月開催）」について（pp.25～28），「コンクリートに関する技術情報交換会」の開催について（p.29），古田支部幹事より「松山自動車道 4 四車線化現場見学」の報告があった（p.30）。

堀井支部検査役より，2023 年度の四国支部の事業実施状況および収支決算書等について，適正に実施および執行されていることの内部監査報告がなされた（pp.31～33）。

（2）2024 年度支部事業計画および収支予算

古田満広支部幹事より，資料 34～40 ページの記載に基づいて説明があった。

岡崎委員長（支部幹事）より「コンクリート構造物の品質確保のための新技術開発と実践に関する研究委員会」の活動内容と委員公募について説明があった（p.38）。上田支部長より，技術情報交換会の予定について説明があった（p.39）。なお，p.40 の 2024 年度収支予算（案）の見学会の予算は，150,000 円に修正することの説明があった。

(3) 支部執行部の改選

古田満広支部幹事より、資料-1 (p.42) に基づいて報告があり、異議無く承認された。

8. 委員会の活動報告

高知工業高等学校定時制建築科の根口百世教諭より、「中心圧縮を受ける鉄筋コンクリート供試体の実験」の活動報告があった。

総会終了後、16:30 から 17:30 まで、徳島大学大学院講師の白山敦子氏による特別講演「令和6年能登半島地震における建物被害」があった。

【記録 橋本親典】

以上の決議を明確にするため、議事録記録人および議事録署名人は、これに署名・捺印をする。

公益社団法人日本コンクリート工学会四国支部

第20回支部総会（報告会）（令和6年4月16日開催）

議事録記録人

橋本親典



議事録署名人

横井克則



議事録署名人

古田満広

